

経口抗凝固薬服用中の消化管粘膜傷害に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年2月19日～2021年3月31日

〔研究課題〕 経口抗凝固療法中の消化管粘膜傷害及び出血についての内視鏡所見における検討

〔研究目的〕 脳塞栓症の予防薬である経口抗凝固薬は、時に副作用として消化管出血を起こすことがあります。薬剤によって消化管粘膜に傷害（きず）ができていますかどうかわかっていません。本研究はこのような薬剤を服用しながら消化管内視鏡検査を受けた方の内視鏡所見を再確認し、どの程度粘膜に傷ができていますか、出血しているのか、を明らかにするためにを行います。

〔研究意義〕 今まで服用中の方の内視鏡所見を調べた報告はありません。本研究によってこれらの薬剤の消化管粘膜への影響を明らかにすることができます。

〔対象・研究方法〕 医療記録（カルテ）から、2011年4月から2017年6月までに、ワルファリン、ダビガトラン、リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバンを投与された患者さんの中で、胃カメラや大腸内視鏡検査を行われた方について、内視鏡所見を調べます。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室

〔個人情報の取り扱い〕 個人が特定され得る記録については暗号化し、学内の規定（プライバシーポリシー）に従って、学内の施錠可能な場所に保管します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 教授 山本貴嗣

研究分担者: 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 准教授 小田島慎也、講師 阿部浩一郎、
大学院生 大隅瞬

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)【内線 7030】